

平成 18 年 12 月 29 日

各 位

本店所在地 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
投資法人名 ベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人
代 表 者 執行役員 木暮 康明
コード番号 8 7 2 1 (大証ベンチャーファンド市場)
問 合 せ 先 執行役員 木暮 康明
電 話 番 号 03-6229-0180

新規投資のお知らせ

本投資法人は平成 18 年 12 月 26 日付で下記のとおり投資を行いましたので、お知らせ申し上げます。

記

1. 投資資産 TS バイオテクノロジー・リヴァイタライズ投資事業有限責任組合
2. 投資金額 4 億 1,000 万円 (本投資法人純資産の約 9.8%)
3. 投資資産の概要

今回、投資を行った資産は、株式会社トランスサイエンス (以下「TS」と言う。) を無限責任組合員、本投資法人を有限責任組合員とする投資事業有限責任組合契約に関する法律に基づく投資事業有限責任組合 (以下「本投資事業組合」と言う。) です。本投資事業組合の事業目的は、主に生命科学 (ライフサイエンス) 分野およびヘルスケア分野における未公開会社のうち、主にレイターステージ (比較的短期間で株式公開等が予想される段階) の企業ならびに再生が見込まれる企業への株式等への投資を行い、株式公開や M&A 等による値上がり益 (キャピタルゲイン) を追求することです。

TS は、バイオビジネス、特に次世代生命科学技術に係る投資育成及びコンサルティングを行っている会社で、次世代生命科学技術を熟知する豊富な人材と大学や製薬会社に深いパイプを持ち、それらの技術を事業化に結びつける豊富な経験により真の科学技術立国の創生を目指しています。同社が平成 14 年に設定した投資事業組合は、日本政策投資銀行ほか大手機関投資家等が出資を行っており、すでに 52 社 (平成 18 年 11 月末) のバイオベンチャー企業への投資を行っております。

本投資事業組合への投資を通じ、本投資法人の資産運用の基本方針の 1 つである再生銘柄への投資を推進するとともに、主にミドルステージおよびレイターステージの企業への投資を通じて中長期の資産価値増大が見込まれると考えております。

【TS バイオテクノロジー・リヴァイタライズ投資事業有限責任組合の概要】

無限責任組合員：株式会社トランスサイエンス

当初出資総額：5 億円（当社：4 億 1 千万円、TS：9 千万円）

（平成 19 年上期に、TS が 3 億円追加出資予定）

組合存続期間：平成 24 年 11 月 30 日（2 年間延長可）

投資ガイドライン：TS バイオテクノロジー・リヴァイタライズ投資事業有限責任組合は、下記の要件を満たす未公開会社への投資等を行い、株式公開やM&A等によるキャピタルゲインの獲得を目指す。

生命科学（ライフサイエンス）分野およびヘルスケア分野、特に、①創薬②創薬支援③診断支援④医療手法⑤予防医療⑥アンチエイジング⑦環境（バイオマスエネルギー、アグリバイオ等）⑧健康維持管理食品⑨病院経営支援⑩バイオマテリアル（生分解性素材等）における国内のビジネスシーズをもとに国内に設立される主にレイターステージの未公開会社（一部、創業段階、ミドルステージの未公開会社を含む）、ならびに同分野の国外のビジネスシーズをもとに国内のビジネスシーズを付加して国内に設立される主にレイターステージの未公開会社（一部、創業段階、ミドルステージの未公開会社を含む）、ならびに同分野において本業が堅調である一方で過剰な負債、投資によりリストラクチャリングを必要とする国内の未公開会社の発行する株式、新株予約権、新株予約権付社債等に対する投資等。

ただし、上記投資分野に属する未公開会社で、生体物質、生体情報（バイオコンテンツ）、測定技術の分野に属する未公開会社への投資は行わないこととする。

【ご参考】株式会社トランスサイエンスの概要

設立日：平成 13 年 12 月 18 日

本店：東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 1 号

資本金：3 億 3,817 万円

代表者：井上 潔（代表取締役社長）

（富士通株式会社にてコーポレートベンチャー制度の企画運営に携わり、12 社のベンチャー企業を立上げる。同社退社後は、数社のバイオベンチャー企業の取締役としてマネジメント全般を担当する。）

研究顧問：大手製薬企業、東京大学、京都大学、大阪大学、慶應大学 等

次世代生命科学技術の中心的な研究者の方々

事業概要：バイオビジネスに係る投資育成及びコンサルティング

以 上